

科目名	仏教と福祉					単位	2.0
担当教員	小島 恵昭						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4407

●授業のテーマ
仏教と福祉

●到達目標

「同朋和敬」を建学の理念とする本学が、なぜ社会福祉学部を設置し、なぜ社会福祉を教育するのか、その理由を知ることと到達目標とします。

●学習内容(授業概要)

福祉という言葉は幸福という意味です。社会福祉となると社会の構成員の幸福という意味となります。一般的には福祉の充実には、経済的援助や労力の提供が必要と考えますが、感情的依存の要求を充足することも必要とおもいます。仏教はながいあいだころの充実を課題としてきました。こうした福祉の理論と仏教の思想における関係性をみいだすと、その目的とすることは同一であることに気づきます。また現代の社会福祉がややもすれば見落としていることに気づきます。

●学習内容(授業計画)

1. 序論
2. 20世紀の福祉
3. 21世紀の福祉
4. 西洋人の「社会」と個人
5. 日本人の「世間」
6. 放生会と「一切衆生」
7. 行基の救済事業と福田思想
8. 臨終行儀とビハーラ
9. 親鸞と慈悲
10. 日蓮と「共(代)受苦」
11. 叡尊・忍性と慈悲
12. 説教『小栗判官』と障害者
13. 寛正飢饉と業報説
14. 蓮如と寄合・談合
15. 結論

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業ごとに資料を配布します。予めその資料を読んで、下調べをすること。事後学習として毎回の授業のまとめと感想を書いてください。

●成績評価方法・基準

毎回のまとめと感想 30%。授業時配布資料およびノート持込み可の学期末筆記試験 70%。

●テキスト（必携）
特になし。

●参考文献／その他

『仏教社会福祉辞典』日本仏教社会福祉学会編；法藏館；定価 3,675 円

●履修上の注意

毎回資料を配布しますので、必ずファイルに綴じてください。